

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	子宮頸癌の予後因子に関する後方視的研究		
② 研究期間	学長許可日から 2021年9月30日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で子宮頸癌治療を受けられた20歳以上の患者さん		
④ 対象期間	2005年4月1日から2019年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学産婦人科学教室 奈良県立医科大学附属病院産婦人科		
⑥ 研究責任者	氏名	川口 龍二	所属 産婦人科学教室
⑦ 使用する試料・情報等	診療録から以下を調査します。 1) 臨床所見、2) 血液所見、3) 病理学的所見、4) 治療開始日、5) 治療方法、6) 再発時期、7) 再発時の1)～5)、8) 転帰		
⑧ 研究の概要	子宮頸癌は30代後半～40代に多く発症し年間約1万人の女性が罹患し、約3000人が死亡しています。検査技術や治療方法の改善にもかかわらず患者数も死亡率も増加しているのが現状です。5年後に生存しているかどうかは進行期によりある程度は予測できますが、十分とはいえません。現在、手術後の補助治療をするかどうかを判断する際に手術で摘出した組織を評価して、再発リスクが高い症例に対して行われていますが、リスクが低くても不良な転機を辿る症例も存在します。近年、様々ながんにおいて血液データを用いてこれを予測できるという報告が数多くなされています。これらが子宮頸癌においても有用であることを確認することで、より一人ひとりにあった治療法を選択する助けになると考えられます。		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2020年 7月 3日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		

⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 産婦人科学教室 担当者：河原 直紀		
	電話	0744-29-8877	FAX 0744-23-6557
	Mail	naoki35@naramed-u. ac. jp	